鳥信 WEB 版　2023 年 1 月号

2022 年 11 月 6 日～12 月 11 日の鳥信

＜筑後エリア＞

＊11 月 6 日　花立山探鳥会から　髙田千代

秋晴れの気持ちの良い日で、ご家族で初参加の方もおられ、嬉しい顔合わせで始まりました。

池の所では､水鳥が先月より一気に増えて 7 種類のカモが泳いでいました｡カイツブリに加えて、カンムリカイツブリが 1 羽いました。

広場～山道では、エナガ、メジロ、シジュウカラ等の小鳥が次々と現れては忙しく飛び去っていきました。高い木の上にモズがとまっていたのは、ひときわ秋を感じさせる景色でした。この日はモズの声と姿が一段と冴えていたような気がします。猛禽類では、トビ、ノスリ、オオタカが見られました。また、この場でハイタカと確認されたものの、後ほど写真でチョウゲンボウと識別されたものもありました。映像判定が重要なのは、サッカーも野鳥も同様のようです。（ワールドカップ開催中に書いてます）

この日は、全部で 34+ 1 種と先月より 10 種以上多く確認でき、本格的に探鳥会シーズンに入ったことを実感しました。今後に一層期待が高まる探鳥会でした。

▲カンムリカイツブリ　撮影：野田(美)

▲チョウゲンボウ　撮影：野田(美)

＊11 月 13 日　濃施山公園探鳥会から　黒田雄一

　昨夜遅くからの小雨が朝まで続き、本日の探鳥会の開催が危ぶまれていましたが開催の９時には何とか雨が降り止み開催できました。

　水仙橋横に集合後、園内一周とうさぎ谷池までの往復を予定していましたが後半雨が酷くなり、うさぎ谷池までの途中にて公園事務所まで引き返し待機しましたが、さらに雨が酷くなったので途中で探鳥会を中止しました。約一時間半の短い探鳥会でしたが、園内にてはジョビタキやモズ、ミヤマホオジロ等が観られ、雨の合間には猛禽類のノスリが見られました。

▲ジョウビタキ♀と♂　撮影：中嶋

▲ノスリ　撮影：中嶋

▲雨の中のハクセキレイ　撮影：中嶋

▲雨の中のホオジロ　撮影：中嶋

▲モズ♀　撮影：中嶋

＊11 月 14･15･16 日　久留米市合川町河川敷の鳥達　野田(敦)

3 日続けて河川敷で鳥見しました。サイクリングロードの泥は取り除かれ、歩き易くなっていました。

樋門でタシギと流れをサッと横切るヒクイナを久しぶりに見ました。ウグイスは地鳴きのあとホー･ケッと何度も鳴きました。それに応えるように対岸からもホー･ケッと聞こえてきます。まだ秋だよー、早すぎないかい。キセキレイも来ました。周辺に優しい表情の雌モズ、雄もいます。

楠木にシロハラ、過眼線の薄いハクセキレイ、魚をくわえて飛んで来たアオサギ、魚を脚でつかんで飛び去ったミサゴ、まだ飾り羽根のあるダイサギ、弾丸のように飛ぶ 2 羽のカワセミ、頭がいいといわれるカササギの群れ、など。

ツグミ、オオバンはまだ見かけません。

▲タシギ　撮影：野田(敦)

▲過眼線の薄いハクセキレイ　撮影：野田(敦)

▲シロハラ　撮影：野田(敦)

▲モズ♀　撮影：野田(敦)

＊11 月 21 日　コウライアイサ・小郡市干潟且田ヶ浦堤（城山公園）　岡部海都

　何か入っていないかと且田ヶ浦堤に寄って見たところ、遠目にカワアイサが入ってる！と思い、近寄ってみてびっくり！なんとコウライアイサの雌でした。

　渡り途中に立ち寄ったのかなと思います。

▲コウライアイサ　撮影：岡部

注）コウライアイサの記録はこの日だけだったようです。

＊11 月 21 日　コサギの群れ　船小屋温泉の南側・矢部川　村上政利

船小屋温泉の南側・矢部川で午後 2：00 頃に白鷺の群れ(約 40 羽)を見つけました。

渡りの「ダイサギ亜種」とかの言葉を本で見つけましたので、それに相当するのでしょうか？

ダイサギは、当方の居住地「田主丸町の巨瀬川」にコロニーを作っていますが、ほとんど単独行動を取っていると思っていましたので、群れを見つけて「チュウサギ」か？と期待したのですが、どうなんでしょうか。写真を添付しています。

▲コサギ　撮影：村上

＊11 月 23 日　大和干拓と昭和干拓の野鳥　江口浩喜

«大和干拓»

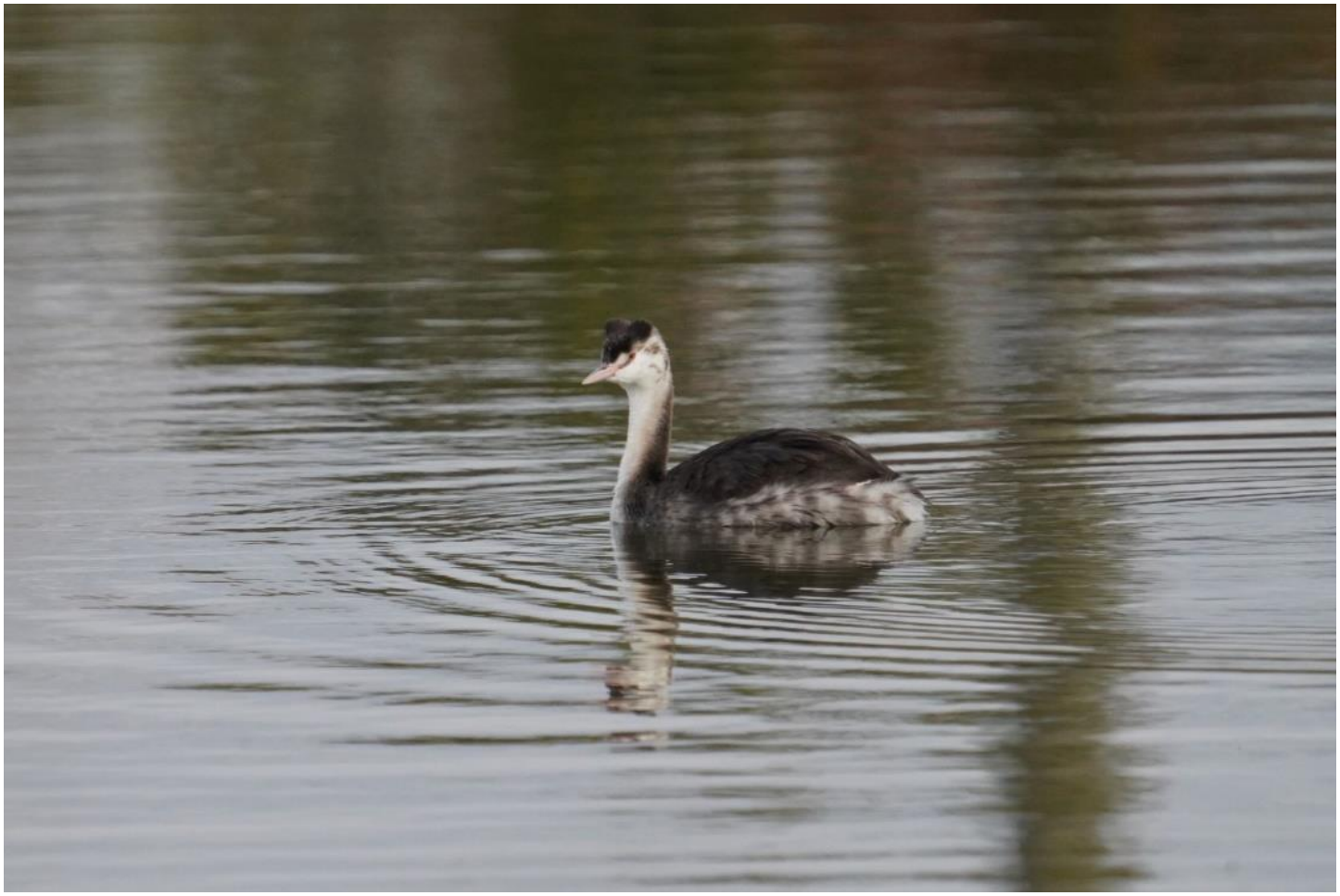
セイタカシギ 1 羽・貯水池の淵にカワウと一緒に羽を休めていました。

ツグミ 1 羽・シロハラは 2 週間ほど前に筑後広域公園で確認していましたが、ツグミはまだでした。今冬、初認です。

«昭代干拓»

カンムリカイツブリ 1 羽・水路で羽づくろいしていました。

▲セイタカシギ　撮影：江口



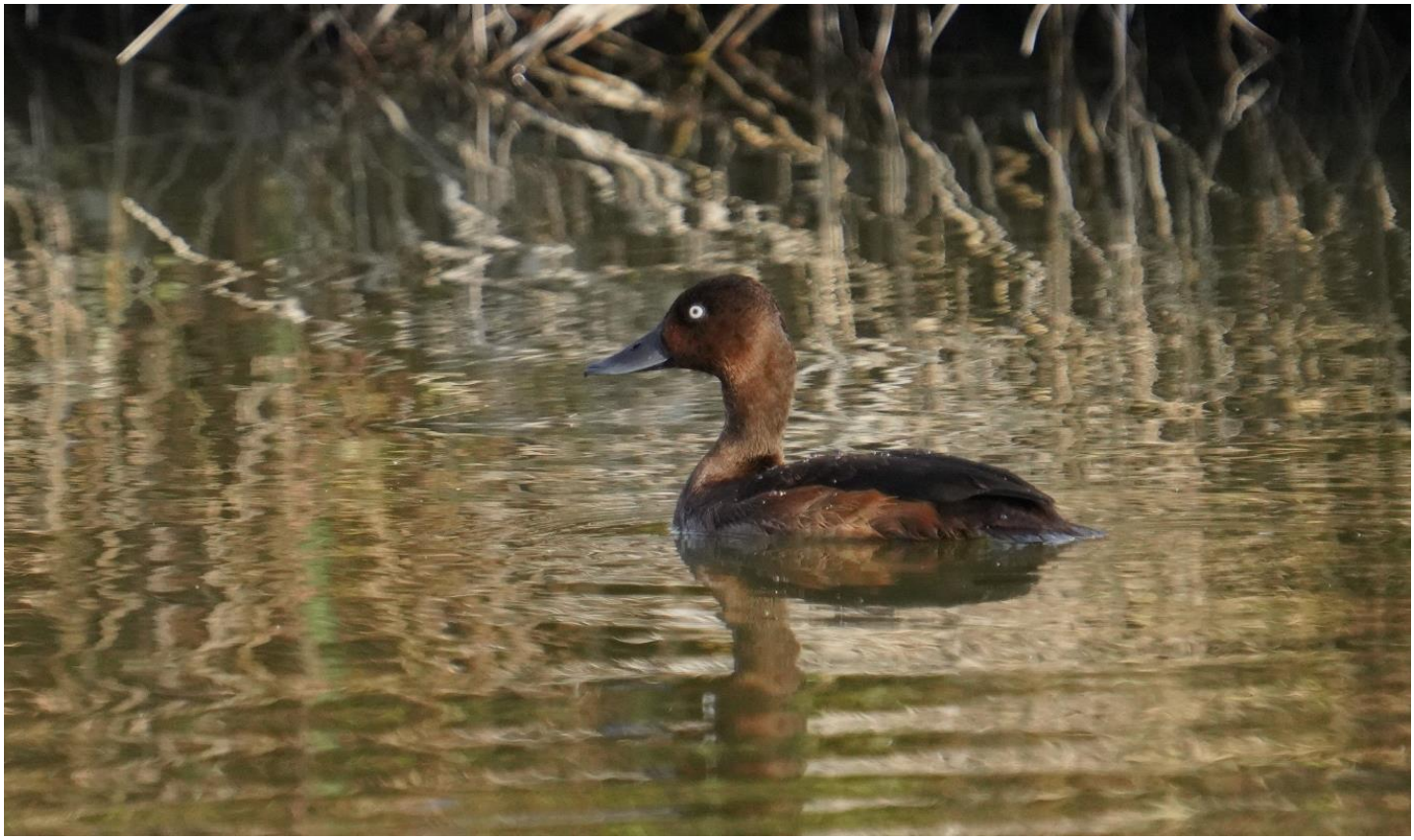
▲カンムリカイツブリ　撮影：江口

＊11 月 23 日　メジロガモ・昭代干拓内の農業用水路　江口浩喜

カンムリカイツブリと同じ農業用水路にいました。

メジロガモの特徴の下尾筒の白が見えないのでどうかなと思っていました。

尾が垂れて水の中にあるので見えないのでしょうか。



▲メジロガモ　撮影：江口

▲メジロガモ　撮影：江口

＊12 月 4 日　コクマルガラス＊2、ミヤマガラス＊±200・久留米市荒木町　溝田泰博

　自宅近くの畑に 200 羽前後のミヤマガラスがいました。これだけの群れを荒木町で見るのも珍しいのですが、その中に 2 羽のコクマルガラス（暗色型）を見つけました。身近なところでコクマルガラスを観察できたことで久しぶりに興奮してしまいました。出来れば白色型がいたらもっと良かったのですが、贅沢は言えません。

＊12 月 9 日　ツクシガモ*1・久留米市合川町河川敷の鳥達　野田(敦)

　ヒドリガモ*100、オオバン*80、カルガモ*10、の群れから離れた所にツクシガモが 1 羽いました。遠目には白く見えましたが、黒い頭に赤い嘴、胸に茶色い線があります。色もはっきりしているので、成鳥のようです。ここ(筑後川の中流域)では初めて見ました。

　小さい樋門の、小鳥がよく来る水辺の葦原で野良猫が昼寝していました。ウグイスが地鳴きしながら出てきて猫に近づきましたが 50 センチ程の所で鳴き止み隠れてしまいました。

　１羽のキジバトが高良川の浅瀬でジッと動かずにいます。どうしたのかな。

　ツグミ、シロハラ、ヒヨドリ、アオジ、カワラヒワ、ホオジロもいました。

＊12 月 11 日　アリスイ＊1・久留米市ゆめタウン横の河川敷　溝田泰博

　ゆめタウン近くの河川敷の林で今季、初めてアリスイを見ました。ほぼ毎年のように、この河川敷に姿を現すアリスイですが、やはり、出会えるとうれしくなる鳥です。キツツキの仲間ですが、自分で樹の幹に穴を掘れないのが情けないのですが、堅い尾羽で縦に体を支える様子はやはりキツツキの仲間かなと感じてしまいます。

▲アリスイ　撮影：溝田